



かるかる

2019年 **1**月 vol.280



トニー・ヴァレンティノ・ラフィアン ©ANKAMA EDITIONS By Tony Valente / 日本語版発行: ユーロマンガ

Kitakyushu International MANGA Festival 2018

北九州国際漫画祭 2018

北九州市漫画ミュージアム
KITAKYUSHU MANGA MUSEUM

〒802-0001
福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-5 あるあるCity5階・6階
TEL 093-512-5077 URL <http://www.ktqmm.jp>

- 主 催: 北九州市漫画ミュージアム
- 特別協力: ユーロマンガ、デジタルカタバト
- 企画協力: NHKエンタープライズ

2018 12/22 土 ▶ 2019 1/20 日

北九州市漫画ミュージアム 5階 企画展示室

- 開館時間 / 11:00~19:00 (最終入館18:30)
- 休館日 / 12月31日~2019年1月2日、1月8日・15日
- 入館料 / 一般200円 (常設展セット券500円) 中高生・小学生 無料

※北九州市漫画ミュージアム年間パスポート提示者、年長者施設利用証提示者、30名以上の団体は2割引
※未就学児、障がい者手帳等をお持ちの方と付き添いの方(1名まで)は無料



平成30年度 文化庁
国際文化芸術
発信拠点 形成事業



小倉北 北九州芸術劇場

所小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州6F ☎093(562)2655 観公演によって異なります
 〰「西小倉駅」徒歩3分 〰「室町・リバーウォーク」徒歩1分 〰年未年始(12/29~1/3)

北九州芸術劇場修繕工事のお知らせ

北九州芸術劇場は大ホール・中劇場・小劇場の施設・設備の修繕工事を実施いたします。
 (予定工事期間:2018年12月3日から2019年2月28日)〈北九州芸術劇場 施設係 TEL093(562)8436)

小倉北 北九州芸術劇場
市民ギャラリー



所小倉北区室町1-1-11リバーウォーク北九州5F ☎093(562)2520
 〰10:00~19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
 〰「小倉駅」徒歩10分 〰「西小倉駅」徒歩3分 〰年未年始(12/29~1/3)

イベント	期 間(時間は上記)	入 場 料	問合せ先
表装スタジオ甫作品展 表装	9水~15火	無 料	表装スタジオ甫 090(7450)0747
第16回九電OB作品展 絵画・書道・陶芸作品・工芸品・手芸・写真・彫刻	16水~22火	無 料	九電北九州OB会 093(980)5560
北九州高校写真部OB写真展 写真	23水~29火	無 料	北九州高校写真部OB会 090(3327)5715
北九州市職員文化祭 絵画・書道・陶芸作品・工芸品・手芸・写真	1/30水~2/5火	無 料	北九州市職員文化体育協議会 093(582)2221

八幡東 北九州市立響ホール



所八幡東区平野1-1-1 ☎093(662)4010 〰「八幡駅」徒歩15分 〰「八幡駅入口第一」徒歩10分
 〰「国際村交流センター」徒歩3分 〰年未年始(12/29~1/3)、隔月1回(不定休) 〰240台(有料)

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
第72回 全日本学生音楽コンクール北九州大会 受賞記念演奏会 ~若き演奏家たちのNew Year Concert~	6(日)	12:00 (予定)	一般 ¥2000 ※対象:小学生以上 ※全席自由	毎日新聞社西部本社事業部 093(511)1119【福田】
響ホール ワンコインコンサート 2018 岩崎洵奈 [ピアノ] ショパン:バラード 第1番 ト短調 op.23 ほか	9水	11:45	¥500 ※対象:小学生以上 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661
第287回 フコク生命チャリティコンサート チャイコフスキー:花のワルツ ~組曲「くるみ割り人形」より ほか	10(木)	18:30	無 料 (要整理券) ※対象:小学生以上 ※問い合わせは音声ガイド ス後0番を選択 ※全席自由	富国生命保険相互会社 北九州支社 093(551)0412【棚瀬】
北九州伯林的管弦楽団演奏会 ブルックナー:交響曲第7番 ほか	13(日)	15:00	無 料 ※全席自由	北九州伯林的管弦楽団 090(5023)0717
響ホール25th 松田理奈×新倉瞳×佐藤卓史 ピアノ・トリオ・コンサート J.ブラームス:ピアノ三重奏曲 第1番 口長調 op.8 (Vn.Vc.Pf) ほか	26(土)	15:00	一般 ¥3000 25歳以下(要証明) ¥2000 ※対象:小学生以上 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661

門司 出光美術館(門司)



所門司区東港町2-3 ☎093(332)0251 〰10:00~17:00(入館は閉館30分前まで) 〰「門司港駅」徒歩8分
 〰「門司IC」約10分 〰月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)、展示替期間、年未年始(12/25~1/10)

イベント	期 間	時 間	入 場 料	問合せ先
楽茶碗と京の華 茶人たちが魅了し続けてきた楽焼。楽家代々の名品と京の茶陶、書画も展示	1/11(金)~3/24(日)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251
列品解説 学芸員が展示作品を分かりやすく解説します	13(日) 27(日)	①11:00 ②14:00	無 料 ※入場料が必要	

門司 門司港レトロ展望室



所門司区東港町1-32 ☎093(321)4151 〰10:00~22:00(カフェは20:30まで※天空ジャズ開催日以外のカフェの営業時間は「関門海峡&門司港レトロ」ホームページをご確認ください)、入館は閉館30分前まで 〰「門司港駅」徒歩5分 〰年4回

イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
天空ジャズ 出演:近藤タケユキ(SAX)、浮城久美子(ピアノ)	5(土)	18:30 19:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151

門司 門司市民会館



所門司区老松町3-2 ☎093(321)2907 〰9:00~22:00 〰「門司港駅」徒歩13分
 〰「関門トンネル車道口」徒歩2分 〰「レトロ東本町1丁目」徒歩3分 〰年未年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期 間	開 演	入 場 料	問合せ先
大ホール	北九州市立大学演劇研究会2019年冬公演「詐欺師入門」 3年生にとってこの公演が最後になります!ぜひ劇場にお越しを!	20(日)	13:00 15:30	無 料	北九州市立大学演劇研究会 090(4995)9986【江川】

門司 旧大連航路上屋 etc.

門司区西海岸1-3-5 回093(322)5020 回9:00~17:00
 門司港駅 徒歩5分 回年4回

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
多目的室B 1階	海峡寄席 北九州を中心に活動している素人落語サークルの落語や漫談をお楽しみください 出演:落楽一座	27(日)	14:00~15:30	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	マンスリーシアター 上映作品:「忘れじの面影」 1954年 アメリカ 出演:ジョン・フォンテイン、ルイ・ジュールダン	27(日)	14:00~16:00	無料	

門司 松永文庫

門司区西海岸1-3-5(旧大連航路上屋1F) 回093(331)8013 回9:00~17:00
 門司港駅 徒歩5分 回月曜日(祝日の場合は翌日休館)、1/8

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
大ホール	松永文庫企画展 「イラストによる映画ポスター展」 映画のポスターに描かれたイラストにスポットを当てた、大人から子どもまで楽しめる企画展	10/17(水)~1/6(日)	無料	松永文庫 093(331)8013
	松永文庫企画展 「なつかしの洋画資料展~映画史に残る西部劇の男たち~」 名作洋画にスポットを当てた企画展。懐かしのスターのポスターやパンフレットなどを展示	1/6(日)~4/7(日)	無料	

門司 門司港美術工芸研究所

門司区東港町6-72 港ハウス2F 回093(322)1235 回10:00~17:00
 門司港駅 徒歩5分 回月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
大ホール	稲葉彬子展 野外彫刻「門司守(もじもり)」(2018年10月門司港レトロ地区設置)の制作過程や新作を展示	1/19(土)~1/27(日)	無料	門司港美術工芸研究所 093(322)1235

小倉北 アルモニーサンク北九州ソレイユホール etc.

小倉北区大手町12-3 回093(592)5405 回公演によって異なります
 小倉駅 徒歩30分 西小倉駅 徒歩15分 ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分
 回年末年始(12/29~1/3)、毎月1回(不定休) P80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	九州交響楽団ニューイヤーコンサート 指揮とお話:現田茂夫 ソプラノ:佐藤しのぶ 合唱:九響合唱団、北九州シティオペラ合唱団	12(土)	17:00	S席 ¥4000 A席 ¥3000 ※対象:小学生以上	九響チケットサービス 092(823)0101
	グランソレイユ・コーラスフェスティバル ゲスト:大西ゆか(ソプラノ)	14(月)祝	15:00	おとな ¥1000 子ども ¥500	北九州ソレイユホール 093(592)5405
	北九州市民文化大学文化講演会 講師:森永卓郎(経済アナリスト・獨協大学教授)	19(土)	13:30	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093(522)5008
	昭和歌謡スペシャルコンサート	20(日)	14:00 18:30	A席 ¥6000 B席 ¥5500	MIN-ON北九州 093(884)1833
	ランチタイム ワンコイン パイプオルガンコンサート ~お昼のひとときをソレイユホールで~ シリーズⅡ弦楽器と共に!	23(水)	12:00	¥500 ※70歳以上無料	北九州ソレイユホール 093(592)5405

小倉北 北九州市立小倉城庭園 etc.

小倉北区城内1-2 回093(582)2747 回9:00~17:00(11月~3月)入館は閉館の30分前まで
 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 回なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
展示室	城内動植物園 ~小倉城庭園の美術より~ 障 当館所蔵の絵画・工芸作品の中から、動物や植物をモチーフにした作品を紹介	開催中~1/27(日)		一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093(582)2747
立礼席	正月呈茶無料振る舞い 障 入館されたお客さま各日先着100名に無料で呈茶を振る舞います	1(火)祝 ~3(木)	10:00	一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	
立礼席	新春茶会 講座生の発表の場でもある恒例のお茶会です	19(土) 20(日)	9:00	一般 ¥1500 小中学生 ¥700 (薄茶二席・入館料込)	

小倉北 北九州市立こども文化会館(併設到津市民センター) etc.

小倉北区下到津4-3-2 回093(592)4152 回9:00~17:00
 小倉北特別支援学校 徒歩1分、下到津 徒歩5分
 回月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3) P20台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
図書室	ビデオ一む アメリカンコレクションA	13(日)	14:00	無料	北九州市立こども文化会館 093(592)4152
	おはなしワールド 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど	26(土)	14:00	無料	

小倉北 北九州市漫画ミュージアム  所小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5F・6F) ☎093(512)5077 開11:00～19:00(入館は閉館の30分前まで) 泉「小倉駅」徒歩2分 休火曜日、年末年始(12/31～1/2)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
企画展示室 ミニギャラリー	北九州国際漫画祭2018 「北九州国際漫画大賞」優秀作品展を中心に、漫画の世界的な広がりを紹介 	12/22(土)～1/20(日)		一般 ¥200 [常設展セット券]一般¥500 ※高校生以下無料	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
	マカロニほうれん荘展 in 福岡 福岡県出身の漫画家・鴨川つばめによる伝説的ギャグ漫画の原画展 	11/17(土)～1/17(木)		無料 常設展入場料が必要	
	北九州漫画家列伝 ～萩岩睦美特集～ 2019年春開催の画業40周年展に向けての作家紹介展示 	11/24(土)～2/17(日)		無料 常設展入場料が必要	
	海峡マンガ合戦 ～岩本しんじ・もーちゃん2人展～ 日本漫画家協会九州ブロックと中国ブロックに所属する作家のミニ個展シリーズ 	12/15(土)～2/15(金)		無料 常設展入場料が必要	
イベントコーナー 常設展示室	漫画スクール  ①自由参加 漫画描き初め「未来の夢やなりたいたいのものを描こう」 ②人物の描き方(服やヨロイの描き方)	①3(木) ②13(日)	13:00～16:00	無料 常設展入場料が必要 ※対象:小学3年生以上 ※定員各先着20名、②は要事前申込	
	漫画体験  漫画の模写や塗り絵、ペンの使い方、簡単なデジタル作画など、初心者でも参加できます	5(土) 26(土)	13:30～16:30	無料 常設展入場料が必要 ※当日各先着20名、途中参加可	

小倉北 北九州市立美術館分館  所小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ☎093(562)3215 開10:00～18:00(入館は閉館30分前まで) 泉「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 泉「室町・リバーウォーク前」徒歩1分 休年末年始(12/28～1/3) および館内整理日  有料

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	1968年 —激動の時代の芸術  政治・文化における運動が激化した1968年。多角的な視点から激動と転換の年に迫る	開催中～1/27(日)	一般 ¥1100 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※20名以上の団体料金 一般¥900 高大生¥400 小中生¥300	北九州市立美術館分館 093(562)3215

小倉北 北九州市立文学館  所小倉北区城内4-1 ☎093(571)1505 開9:30～18:00(入館は閉館の30分前まで) 泉「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 泉「勝山公園(市立文学館前)」徒歩1分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29～1/3)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
	第41回光草書道展「文学と書の交わり」 文学をテーマとした書道作品約50点を展示します	12(土)～20(日)		無料	北九州市立文学館 093(571)1505
	講演会「世界を渡るシェイクスピアと書道」 北九州市立大学准教授のアダム・ヘイルズさんによる講演会	13(日)	13:00～14:30	無料 ※光草書道展関連イベント	

小倉北 北九州市立松本清張記念館  所小倉北区城内2-3 ☎093(582)2761 開9:30～18:00(入館は閉館の30分前まで) 泉「西小倉駅」徒歩5分 泉「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 休年末(12/29～31)

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	松本清張記念館閉館20周年記念特別企画展 「松本清張『砂の器』展」 	12/18(火)～3/31(日)	常設展示観覧料を含む 大人 ¥500 中高生 ¥300 小学生 ¥200	松本清張記念館 093(582)2761

小倉北 小倉井筒屋  所小倉北区船場町1-1 ☎093(522)3111(代) 開10:00～19:00※各最終日は16:00に閉場 泉「小倉駅」徒歩7分 休不定休、1/1

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
新館7階 大画廊	木目込人形作品展	9(水)～15(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	伊藤若冲 版画展	16(水)～22(火)	無料	
	小暮真望 版画展	23(水)～30(水)	無料	
新館7階 小画廊	～そこに在る静けさ～ 三宮一将 油彩展	9(水)～15(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	～20世紀・スペイン三大巨匠～ ピカソ・ミロ・ダリ作品展	16(水)～22(火)	無料	
	上賀茂流 真多呂人形 波多江 真麗華 作品展 京都賀茂人形の正統技術を伝承し、現代人の心に溶け込む真多呂人形を展示	23(水)～30(水)	無料	
大画廊 新館7階 小画廊	年末年始 絵画お宝市 多彩な作家の絵画・版画等を展示	2(水)～8(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊・小画廊 093(522)2521
	日本画・洋画 特選版画展	1/31(木)～2/5(火)	無料	

小倉北 到津の森公園 

所小倉北区上到津4-1-8 画093(651)1895 時9:00~17:00
 画「到津の森公園前」徒歩1分 休1/1、8、15、22、29

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
～ This is 鉛筆画～ えんぴつ画作品展 北九州市在住の鉛筆画アーティスト箱崎誠氏による動物を描いた作品を展示	2水～31木	無料 ※別途入園料が必要 ※2水・3木は10:00から	到津の森公園 093(651)1895

小倉北 小倉城 

所小倉北区内2-1 画093(561)1210 時9:00~17:00(11月~3月)入館は閉館の30分前まで
 画「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 休2019年3/31まで休館中

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
バス駐車場 大手門場	第60回 小倉城大鏡餅 おしるこ会 大鏡餅のおしるこ無料振る舞いをを行います	6日	11:00	無料	小倉城 093(561)1210

小倉南 平尾台自然の郷 

所小倉南区平尾台1-1-1 画093(452)2715 時10:00~16:00(12月~2月) 画「小倉南IC」約20分 画「石原町駅」よりタクシー、おでかけ交通で約15分
 画「中谷営業所」よりタクシー、おでかけ交通で約20分 休火曜日(祝日の場合は翌日休館)、12/29~1/3(ただし1/1は初日の出のため特別開園)

イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
平尾台初日の出会 カルスト台地平尾台で初日の出を見よう(日の出予定時刻:7時20分頃)	1火祝	6:00~8:00	無料 ※駐車場無料	平尾台自然の郷 093(452)2715
平尾台新春風揚げ会 名人によるおもしろ風揚げや凧作り教室を開催します	20日	11:00~15:00	凧作り教室 ¥500 ※凧作り教室:定員先着50名、14:00まで	

若松 現代美術センター CCA北九州 

所若松区ひびきの2-5 学術研究都市 画093(695)3691 時10:00~17:00(展覧会開催時のみ)
 画市営バス「学研都市ひびきの」徒歩3分 休年末年始(12/29~1/3)

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
ハミッシュ・フルトン展 自ら愛媛県久万高原町の遍路道を14日間歩いた経験から制作された新作の展示	12/5水~2/1金 (日・祝休み)	無料 ※土曜日は12:00から	現代美術センターCCA北九州 093(695)3691

八幡東 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター) 

所八幡東区東田2-2-11 画093(663)5411 時平日9:00~19:00、土・日・祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで)
 画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩3分
 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3) 画大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
ギャラリー 企画展示	秋企画展「光のふしぎ展 2」 光が魅せる色や音と、人の動きが反応し合う、ふしぎなスペースで遊んでみましょう	10/13(土)~1/14(月)祝	大人 ¥300 小人(小中学生) ¥100 ※小学生未満無料	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411

八幡東 北九州市立旧百三十銀行ギャラリー 

所八幡東区西本町1-20-2 画093(661)9130 時10:00~18:00
 画「八幡駅」徒歩5分 休年末年始(12/29~1/3)

イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
写真で観る演劇 ダブルクラブ演劇公演写真展 主催 演劇プロジェクトダブルクラブ	5(土)	11:30~14:00	無料	旧百三十銀行ギャラリー 093(661)9130
	12(土)	11:00~13:30		
公演「ゆめ夢コト」 主催 演劇プロジェクトダブルクラブ	13(日)	15:30~16:40	一般 ¥1200 学生 ¥500 当日券(一般・学生) ¥1500	
	14(月)祝	11:30~12:40 14:30~15:40		

八幡東 北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館) 

所八幡東区東田2-4-1 画093(681)1011 時9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩1分
 休年末年始(12/29~1/1)、6月下旬頃(約1週間) 画大型30台、普通300台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
冬の特別展「世界遺産のまち 北九州と明治日本の産業革命遺産」  世界遺産八幡製鐵所の歴史と価値を紹介し、北九州の近代史を明示する	12/22(土)~2/11(月)祝		要常設展観覧料 大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200	いのちのたび博物館 093(681)1011
冬の特別展開関連イベント「ひびのとぶらっと」  特別展会場、常設展歴史ゾーンで日比野学芸員による解説	13(日)	14:00	要常設展観覧料 大人 ¥500 高大生 ¥300 小中生 ¥200 ※小学生以下は保護者の参加が必要	
室内講座「透明標本で骨のつき方をみてみよう！」 カエル・サンショウウオなどの透明骨格標本を観察し、骨のつくりなどを学ぶ	19(土)	13:30	無料 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(抽選)、小学生は保護者同伴	
歴史講演会「九州の装飾古墳」 講師:東京国立博物館 上席研究員 河野一隆氏	19(土)	13:30	資料代 ¥500 ※小学生以下は保護者の参加が必要 ※当日先着200名	

八幡東 **北九州市立児童文化科学館** 

所八幡東区桃園3-1-5 画093(671)4566 画9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 画「市立児童文化科学館前」徒歩5分 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
前広場 科学館	ミニSL運行! はねつき・こままわし大会 昔の遊びに挑戦! 上位入賞者には、プレゼントがあります	6(日)	14:00~ 14:50	無料	児童文化科学館 093(671)4566
会議室	サイエンスショー パチッと決めよう! 静電気	14(月)祝	14:00~ 14:50	無料	
プラネタリウム プラネタリウム プラネタリウム	星の観望の夕べ  プラネタリウム観覧後、月とすばるなど冬の星空を望遠鏡で観察します	19(土)	18:30~ 20:00	大人 ¥100 中高生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者の参加が必要 ※先着100名、5時から電話受付開始	

八幡西 **北九州市立子どもの館** 

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティF 画093(642)5555 画10:00~19:00
 画「黒崎駅」徒歩1分 画「黒崎バスセンター」徒歩1分 画1/1、2、16

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール 子ども	福田りゅうぞうのファミリーコンサート あそびダンス作家として、全国で活躍中。親子で音楽に合わせていっぱい遊ぼう	13(日)	13:00 15:00	無料 ※一日フリーパス券・3か月会 員パス券お持ちの方優先 ※各回先着250名	北九州市立子どもの館 093(642)5555

八幡西 **北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館**  

所八幡西区木屋瀬3-16-26 画093(619)1149 画9:00~17:30(入館は17:00まで) 画「筑前植木駅」徒歩15分
 画(筑豊電鉄)「木屋瀬駅」徒歩5分 画九州自動車道「八幡IC」、北九州市高速「馬場山ランプ」約10分
 画月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)
 画一般¥200(160)、高校生¥100(80)、小中学生¥50(40)※()内は30名以上の団体料金

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
こやのせ 座	第18回 木屋瀬いろは歌留多大会 木屋瀬の歴史・伝統をテーマとした歌留多の大会	6(日)	10:00	無料	長崎街道木屋瀬宿記念館 093(619)1149
	NewYearコンサート 2019 響ホール室内合奏団によるコンサート	26(土)	14:00	¥500 ※当日¥300増	

八幡西 **黒崎井筒屋** 

所八幡西区黒崎1-1-1 画093(643)5111(代) 画10:00~19:30※各最終日は17:00に閉場
 画「黒崎駅」隣接 画不定休、1/1

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
6階 ギャラリー	末廣章 絵画展	12/25(火)~1/6(日)	無料	黒崎井筒屋 ギャラリー 093(643)5268
	黄金逸品展	12(土)~14(月)祝	無料	
	和田木乃実 創作屏風展 日本の伝統美・帯や着物を使用した屏風、掛軸を展示	15(火)~20(日)	無料	
	アルパカニットフェア	22(火)~27(日)	無料	
	ポップアナ織りとヨーロッパデザイナーズウエア フィンランドの伝統織物「ポップアナ織り」を使用したジャケットなど展示	1/29(火)~2/3(日)	無料	

八幡西 **黒崎ひびしんホール** 
 (北九州市立黒崎文化ホール)

所八幡西区岸の浦2-1-1 画093(621)4566 画9:00~22:00
 画「黒崎駅」徒歩10分 画(筑豊電鉄)「黒崎駅前」徒歩10分 画「熊手四ツ角」徒歩1分
 画北九州市高速「黒崎IC」5分 画年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	2019 Insheart コンサート with Ochimizu Yosuke トークショー 現役医師による音楽ユニット 	6(日)	13:30	¥3000 ※障害者手帳をお持ちの方は 当日持参ください(確認後 半額返金) ※全席自由	落水洋介応援隊 090(5721)8238【真鍋】
中ホール	THEのどじまん	13(日)	13:30	¥995	ジーアイエヌエンタテインメント合同会社 093(287)4979【山下】
	第42回新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 「打・擦・振・弾の世界体感しませんか?」 北九州マリンパオーケストラRIM 川上恵子・岩崎雅子・村岡慈子・竹内典子・吉田実奈子	17(木)	13:00	¥500	黒崎ひびしんホール 093(621)4566

八幡西 **八幡西生涯学習総合センター** 

所八幡西区黒崎3-15-3 画093(641)9360 画9:00~22:00
 画「黒崎駅」徒歩1分 画「黒崎IC」約6分 画年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
マニエド コロシアム コロシアム	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 音楽のある街づくり ミニコンサート 毎月第2土曜日に、ジャズやボサノバ、映画音楽などを演奏するミニコンサートを実施	12(土)	12:00~ 13:00	無料	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 093(671)0411【石橋】

八幡西 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー 所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F 画093(644)5206 画9:00~19:00(入館は閉館30分前まで)※企画展により異なる 画「黒崎駅」徒歩1分 画年末年始(12/28~1/3)および館内整理日

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
全展示室	新春書作展 書	4(金)~ 6(日)	9:00~ 18:00	無 料 ※4金は13:00から、6日は 16:00まで	日本習字支部長会書遊クラブ 090(8407)5752【有木】
	第3回行動美術福岡展 洋画	14(月)祝 ~20(日)	9:30~ 17:30	無 料 ※14月祝は12:00から、20日 は17:00まで	行動美術協会 0949(26)7942【阿部】
展示室1	はじめての水墨画 水墨画	7(月)~ 13(日)	10:00~ 17:00	無 料 ※7月は12:00から、13日は 16:00まで	はじめての水墨画 093(381)8809【駒山】
	虹水彩画会 水彩画	21(月)~ 27(日)	10:00~ 17:00	無 料 ※27日は16:00まで	虹水彩画会 093(613)3453【岩崎】
展示室2	西川幸夫スケッチ・淡彩「四季彩」フランス展 洋画	7(月)~ 13(日)	9:00~ 18:00	無 料 ※7月は10:30から、13日は 17:00まで	西川幸夫スケッチ・淡彩「四季彩」教室 090(1196)9432【西川】
	全日本写真連盟写友水巻支部展 写真	21(月)~ 27(日)	9:00~ 18:00	無 料 ※21月は13:00から、27日は 17:00まで	全日本写真連盟写友水巻支部 090(5389)3537【薬石】

戸畑 北九州市立美術館本館 etc. 所戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 画093(882)7777 画9:30~17:30(入館は閉館30分前まで)、12/23は20:00まで 画「美術館口」徒歩10分、「七条」「美術館口」より無料シャトルバス運行 画210台 画月曜日(祝日・振替休日の場合翌日休館)、年末年始(12/29~1/1)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	ジョルジュ・ルオー 聖なる芸術とモデルニテ 障 20世紀最大の宗教画家ジョルジュ・ルオー。その聖なる芸術の意味と現代性を再考する	開催中~2/17(日)		一般 ¥1200 高大生 ¥ 800 小中生 ¥ 600 ※20名以上の団体料金 一般¥1000 高大生¥600 小中生¥400	北九州市立美術館 093(882)7777
シヤトルバス	記念講演会② “礼拝堂=美術館”アッシン教会とルオーのステンドグラス—1950年代の「聖なる芸術(ラール・サクレ)」をめぐって 講師:後藤新治氏(西南学院大学教授・ルオー展監修者)	20(日)	14:00	無 料 ※定員100名(先着順)	
市民ギャラリー	平成30年度 高文連写真部門 北九州地区展 写真	16(水)~ 20(日)	10:00~ 17:00	無 料 ※20日は16:00まで	高文連写真部門(北九州市立高校) 093(881)5440
市民ギャラリー	第28回 日専連 全国児童版画コンクール(北九州の部) その他	22(火)~ 27(日)	9:30~ 17:00	無 料 ※27日は15:00まで	協同組合日専連 093(521)7550

戸畑 戸畑市民会館(ウェルとばた内) 所戸畑区汐井町1-6 画093(871)7200 画9:00~22:00 画「戸畑駅」徒歩1分 画「戸畑駅」徒歩1分 画年末年始(12/29~1/3)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	新春歌まつり カラオケの発表会	20(日)	10:00	¥1000	ウェルとばた総合案内 093(871)7200
多目的ホール	ウェルカムコンサート 出演者:筑前琵琶 北田旭朋	10(木)	12:20	無 料	

etc. ちょっといかが? 昼下がりの文学カフェ

文化情報の発信拠点である「北九州文学サロン」では、本市ゆかりの文学者の紹介をはじめ、周辺文化施設でのイベント情報の提供やさまざまな文化イベントを開催しています。このたび、気軽に文学に触れてもらう催しとして、北九州市立文学館・北九州市立松本清張記念館の学芸員による出張文学講座を開催します。

北九州ゆかりの作家の話聞きながら、ちょっとおしゃれにコーヒープレイクはいかが?

1月4日(金)
11:00から
申し込み
受付開始

	日時	内容	講師
第1話	1月18日(金) 14:00~15:30	詩人・宗左近のこと -戦争と縄文、そして北九州へ	北九州市立文学館 学芸員 稲田 大貴
第2話	1月19日(土) 14:00~15:30	松本清張が描いた江戸時代 -捕物帳から歌舞伎まで	北九州市立松本清張記念館 学芸員 小野 芳美
第3話	1月25日(金) 14:00~15:30	北九州ゆかりの現代作家たち	北九州市立文学館 学芸員 小野 恵
第4話	1月26日(土) 14:00~15:30	清張が小倉で出逢った鷗外	北九州市立松本清張記念館 学芸員 柳原 暁子
第5話	2月1日(金) 14:00~15:30	杉田久女と橋本多佳子 北九州が生んだ俳句作家	北九州市立文学館 学芸員 中西 由紀子

※1話のみの参加可。内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください

- ◆日時:2019年1月18日(金)・19日(土)・25日(金)・26日(土)・2月1日(金)14:00~15:30(全5回)
- ◆会場:北九州文学サロン(小倉北区京町1-5-9-1F 京町銀天街)
- ◆料金:無料(コーヒー代実費※希望者のみ)
- ◆申し込み方法:各回定員先着20名(本やコーヒーが好きな方)、電話または来館でお申し込みください

お問合せ先 北九州文学サロン TEL093(383)8610 (小倉北区京町1-5-9-1F 京町銀天街)

♪ グランソレイユ コーラスフェスティバル

シニアと子どもたちによって結成された「グランソレイユ合唱団」。4年目となる今回は魅力あふれる合唱の歌声とパイプオルガンの美しい響き、本市出身のソプラノ歌手・大西ゆかさんをお迎えしオペラの名曲を北九州グランフィルハーモニー管弦楽団と共にお届けします。

【第1部】

- フィガロの結婚序曲／モーツァルト
- ゆりかごの歌・少年時代・翼をください・大きな古時計／編曲：前田克治・北村太吾
- 大地讃頌／佐藤真
- 前奏曲ホ短調／N.ブルース
- カンタータ147番「主よ人の望みよ喜びよ」／J.S.バッハ

【第2部】オペラファンタジー

- カルメンハイライト／ビゼー
- 「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲／マスカーニ
- メリーウィドウより“ヴィリアの歌”／レハール
- 「ナブッコ」より“行け、わが思いよ、金色の翼に乗って”／ヴェルディ

《出演》大西ゆか(ソプラノ)、グランソレイユ合唱団、
北九州アカデミー少年少女合唱団、北九州市少年少女合唱団、
北九州グランフィルハーモニー管弦楽団、
稲穂美奈子(オルガン)、
宮崎由紀子(ピアノ)、脇岡総一(指揮)

- ◆日時：2019年1月14日(月・祝)15:00～17:00(14:30開場)
- ◆会場：アルモニーサンク北九州ソレイユホール(小倉北区大手町12-3)
- ◆料金：おとな1000円、子ども(3歳～中学生)500円
- ◆チケット販売：主要プレイガイドで販売中
- ◆お問合せ：アルモニーサンク北九州ソレイユホール 093(592)5405



大西ゆか



グランソレイユ合唱団

♪ 合唱組曲「北九州」演奏会

合唱組曲「北九州」は、市制15周年を記念し、日本を代表する團伊玖磨氏の作曲と、本市にゆかりの深い栗原一登氏の作詞によってつくられた、北九州市の「ふるさと賛歌」です。温かみのある素晴らしい詩と、ダイナミックで美しい演奏は、ふるさとを愛する私たちの心に、大きな感動を与えてくれます。



- ◆日時：2019年3月17日(日)15:00～17:00(14:00開場)
- ◆会場：アルモニーサンク北九州ソレイユホール(小倉北区大手町12-3)
- ◆料金：一般2000円、25歳以下1000円(当日各500円増、全席自由)
- ◆チケット販売：主要プレイガイドで販売中
- ◆お問合せ：(公財)北九州市芸術文化振興財団音楽事業課 093(663)6661

♪ 中学生合唱フェスティバル

市内中学校合唱部による発表を中心とした合唱の祭典。全体合唱や有志生徒によるフェスティバル合唱団の演奏などすてきなハーモニーを響かせます。

- ◆日時：2019年2月9日(土)
14:00～16:30(13:30開場)
- ◆会場：アルモニーサンク北九州
ソレイユホール
(小倉北区大手町12-3)
- ◆料金：入場無料、事前申込不要
- ◆お問合せ：北九州市教育委員会
指導第一課 093(582)2368

♪ レディースコーラスフェスティバル

北九州市内や近郊で活動する女声コーラスグループ約50団体、約1000人が出演。心温まる美しい歌声にご期待ください。

- ◆日時：2019年3月21日(木・祝)
10:30～17:00(10:00開場)
- ◆会場：北九州市立響ホール
(八幡東区平野1-1-1)
- ◆料金：入場無料、事前申込不要、未就学児入場不可※託児あり(要事前申込)
- ◆お問合せ：(公財)北九州市芸術文化振興財団
音楽事業課
093(663)6661

♪ まちかどコーラス in リバーウォーク

「合唱の魅力をたくさんの人に届けたい！」という思いから、市内のコーラスグループが「まちかど」で合唱を披露します。

- ◆日時：2019年3月23日(土)～24日(日)
12:00～17:00(予定)
- ◆会場：リバーウォーク北九州
1F ミスティックコート
(小倉北区室町1-1-1)
- ◆料金：入場無料
- ◆お問合せ：北九州市市民文化スポーツ局
文化企画課 093(582)2391

合唱の街 北九州

北九州市では「合唱の街・北九州」をキャッチコピーに合唱を通じた元気な人づくり・街づくりに取り組んでいます
北九州市市民文化スポーツ局文化企画課 093(582)2391 ※上記演奏会の詳細は各お問合せ先へご確認ください

ジャンルごとに色分けして表記しています



演劇・舞踊



音楽



美術・展示



etc. 映像・その他催し

※12月12日現在の情報です
※催しは内容など変更になる場合がございます

障 障害者手帳減免があります



2019年
1月号表紙
旧古河鉱業若松ビル

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」

■発行日／2019.1.1 ■発行／北九州市

■編集・制作／(公財)北九州市芸術文化振興財団 文化情報課 〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-111-5F

TEL:093(562)3027 FAX:093(562)3029 E-mail:culcul@kicpac.jp 北九州市印刷物登録番号 第1809002A号

情報コーナー

■楽茶碗と京の華

1月11日(金)～3月24日(日)。
午前10時開館、午後5時閉館(入館は同4時30分まで)。出光美術館・門司(門司区東港町)。
茶人たちが魅了してきた楽焼の魅力を楽家代々の名品を中心に紹介する。京の茶陶や書画も展示。会期中の第2、第4日曜日午前11時と午後2時には「列品解説」を開催。学芸員が展示作品を分かりやすく解説する。入館料、一般700円、高大生500円、中学生以下無料(保護者同伴)。祝日を除く月曜休館。出光美術館(門司) 093(332)0251



『楽茶碗と京の華』チラシ

■福岡ユネスコ文化講演会 「19世紀ロシア文学とその翻訳」

1月25日(金)。午後6時30分開場、同7時開演。コワーキングスペース秘密基地(小倉北区京町)。講師はロシア文学者・沼野恭子。翻訳にまつわるエピソードなど講演。参加費(ドリンク代)500円。定員60人、抽選の場合あり。申し込みはインターネット(「北九州市ネットワーク」で検索)、往復はがき(郵便番号、住所、氏名・ふりがな、年齢、電話番号、参加人数3人までを記載)。1月7日必着。〒803-1850 小倉北区域内1の1北九州市文化企画課内「沼野恭子氏講演会」係 093(582)2391



『福岡ユネスコ文化講演会「19世紀ロシア文学とその翻訳」』チラシ

便番号、住所、氏名・ふりがな、年齢、電話番号、参加人数3人までを記載)。1月7日必着。〒803-1850 小倉北区域内1の1北九州市文化企画課内「沼野恭子氏講演会」係 093(582)2391

■実験的音楽空間「REFINE」音も身体も

2月8日(金)午後6時30分開場、同7時開演。北九州市立響ホール(八幡東区平野)。響ホ

ールが新たに取り組むダンスと音楽のコラボレーション。アーティストが八幡に滞在し、創作を行った舞台作品を上演。出演は、セレノグラフィカ(ダンス)、アンサンブル・ノマド(音楽)、ワークショップ参加者。全席自由。入場料、一般2000円、25歳以下(入場時要証明)1000円。未就学児入場不可。響ホール音楽事業課 093(663)6661



セレノグラフィカ ©Ai Hirano

■森麻季 音の美術館

イタリア 美への旅路

3月9日(土)午後2時30分開場、同3時開演。黒崎ひびしんホール大ホール(八幡西区岸の浦)。ソプラノ森麻季、ピアノ山岸茂人、ナレーター浦久俊彦スクリーンに映し出されるイタリア絵画を背景に、森麻季がイタリア歌曲のレパートリーを美しく歌い上げる。全席指定。入場料、一般4500円、友の会4000円、ペア8000円、高校生以下2000円。当日各500円増。未就学児入場不可。黒崎ひびしんホール 093(621)4566



『森麻季 音の美術館 イタリア 美への旅路』チラシ

永野栄子

いろはに ぴあの



ハーバード大学を卒業し、自ら事業を立ち上げ、母校の学生たちと仕事をしている知人に尋ねてみた。「ハーバードの学生さんは、膨大な課題をどのようにこなしていくのでしょうか」。彼らの特徴は、まず『レスポンスが早い』こと。依頼をする、30分後には大まかな案が必ず送られてくる。そして、それからが彼らの面目躍如たること

目の前の締め切りが原動力を生む

ろ。締め切りの力を利用して、圧倒的な集中力で仕事をこなしていくということだ。毎日毎日、3件ほどの締め切りを抱えながら、である。確かに、締め切りが目の前に迫ると、突然仕事が始まるようになるというのは、自分

感と、一つのことを深く掘り下げる力。一見矛盾しそうな二つの力を両立させるには、やはり日々の鍛錬のみが頼りだと思ふ多彩な力がいつの間にか身に付いているように、と今日も楽しい課題を考えている。

分の体験に照らし合わせても、なるほどとうなずける。モスクワ音楽院では、ほとんどのクラスが週3回レッスンを行っていった。たった1日でコンツェルトの譜読から、暗譜までしてくるロシア人学生の力量に

CulCul の主な設置場所

各区役所・出張所、市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、響ホールなど

北九州市文化芸術メディアサイト CulCul・かるかる



ウェブで情報発信中!

スマホ・パソコンから

<http://www.kitakyushu-culcul.jp>

●主なコンテンツ

- ・『CulCul・かるかる』最新号の記事
- ・イベント情報
- ・イベントカレンダー
- ・文化施設案内
- ・かるかるバックナンバー
- ・関連リンク ほか



埋蔵文化財 hiroba

遺跡からのメッセージ

(公財)北九州市芸術文化振興財団
埋蔵文化財調査室 学芸員

宇野 慎敏 Masatoshi Uno



図1 長野尾登遺跡
第2地点C区
3号住居跡出土
ヒョウタン形土器

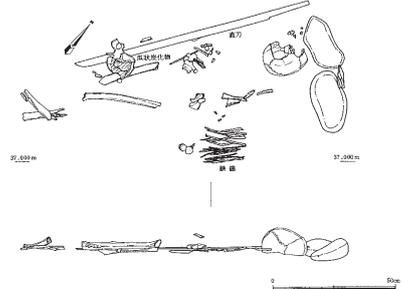


図3 大分県中津市・幣旗邸1号墳
人骨 大腿骨とヒョウタン出土状況

ヒョウタンむかしむかし

「ひょうたんから駒」ということわざがある。私も考古学徒も日々、発掘調査に従事し、時にはこのことわざのような出来事に遭遇することがある。

30年ほど前に宅地造成が予定されている古墳がないと思われた平坦な山頂で遺跡があるかどうかを調べる試掘調査をしていた時、卑弥呼が中国皇帝からもらった銅鏡100枚とされる三角縁神獣鏡の破片が見つかった。

その破片には神仙世界の女王である西王母の膝とその台座が見えた。びっくりどころではなく、手が震え、あわてて山から下り、その文様を確認したことを昨日のことのように覚えている。

ことわざのヒョウタンではないが、今から18年前に、小倉南区の長野に所在する長野尾登遺跡第2地点C区で弥生時代後期の3号住居跡からヒョウタン形土器が出土した。(図1)

ヒョウタンはわが国では福井県の鳥浜貝塚や滋賀県の粟津湖底遺跡などの縄文時代の遺跡から出土している。ヒョウタンの原産地はアフリカといわれており、どのようにしてヒョウタンの種子がわが国に伝わったのかは分かっていないが、これらの遺跡の年代から少なくとも1万

年前には日本に伝わっていたことになる。

モアイ像で有名なイースター島では、マケマケの神はヒョウタンの若い果実の果肉をこねて創り出されたという神話がある。ヒョウタンは水入れの容器に使われるだけでなく、神・魔除けとしてハワイやニューギニアの方にも広がっている。

日本では大分県中津市の上ノ原48号墓からヒョウタンと思われるものが見つかった。墓室内から熟年男性の人骨が1体出土したが、外された膝蓋骨が左足の足元にあつた鹿角製品の上に置かれ、その上にヒョウタンが被せられていた。(図2)頭骨や大腿骨などの骨には乱れがないことから、膝蓋骨は白骨化した後に意図的に外され、ヒョウタンと共に鹿角製品の上に

置かれたことが分かる。

こうした例は大分県中津市相原に所在する幣旗邸1号墳の若年男性の大腿骨とそれに添わせられた鉄刀の上にまたがるようにしてヒョウタンが置かれていた。

(図3) これらの膝や大腿骨にヒョウタンを置くという行為は、死者が生き返って現世の人々に悪さをしないようにするための儀礼である。膝の部分にヒョウタンを置くことによって歩けなくすると考えたのであろう。

こうしたヒョウタンに魔除け・霊力があつたと考えている例は他にも世界中にいくつもある。例えばサハラ砂漠のドゴン族はヒョウタンを女性性器のように新しい生命をうみだすものと考えており、台湾の少数民族も人類はヒョウタンから生まれ出たと信じている。また、タイのアカ族はヒョウタンをネックレスのようにぶら下げて子どもの魔除けにし、ボルネオのダヤク族

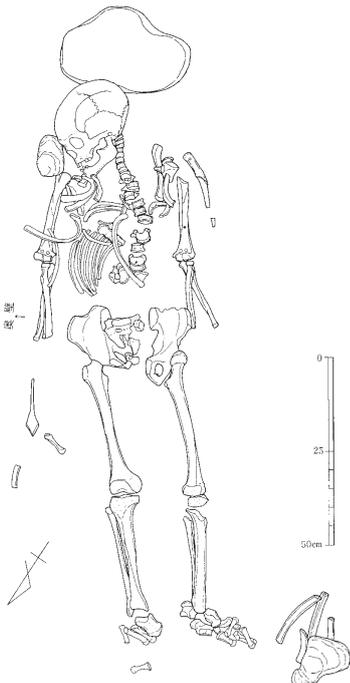


図2 大分県中津市・上ノ原48号横穴墓の
膝蓋骨とヒョウタン出土状況

はヒョウタンを痛む患部にあてると治ると信じている。中国では紙や布をヒョウタン形に切り、窓や入り口の鴨居の上に逆さまに貼って辟邪や魔除けにしている例もある。

このように世界の至る所でヒョウタンは霊力があると信じられており、長野尾登遺跡のヒョウタン形土器も住居の出入り口の床面から出土していることから、辟邪・魔除けの意味で置かれていたものであろう。弥生時代人のヒョウタンに対する思いや風習を知る上で貴重な資料であることに間違いはない。

※ わざわいを取り除いて

〈埋蔵文化財の展示案内〉

- ・北九州市立埋蔵文化財センター(小倉北区金田1の1の3 093(582)0941)
北九州市を掘る(91)埋蔵文化財速報展『焼け落ちた天守閣-小倉城天守台石垣と内堀の発掘調査から-』
小倉城天守台石垣の測量調査と内堀の発掘で出土した瓦や陶磁器、また焼け焦げた建築材など、遺物や写真パネル計60点を展示・常設展もあり
【入館料】無料 【開催期間】4月21日(日)まで
【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
※毎週月曜日(休日の場合はその翌日)休館、年末年始は休館
- ・黒崎歴史ふれあい館(八幡西区黒崎3の15の3黒崎駅横コムシティ1F)
常設展開催中/『城下町から宿場町へ~出土品が語る黒崎の歴史と文化~』
『シュガーロード・発掘物語』
【入館料】無料 【開館時間】午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
※年中無休

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 専門研究員

表 智之 Tomoyuki Omote

北九州国際漫画祭2018 「インドネシア・マレーシア漫画展」ほか

漫画という表現が、理性よりは感情に訴えかける部分が多いからなのか、それとも、子供が読むものというイメージが強いからなのか、漫画は何らかの「タブー（禁忌）」に触れたとみなされて激しく非難されることが、たびたび起きます。近年の日本漫画がそうであるように、国境を越えてグローバルに漫画が流通し、読まれるようになって、原産国では問題なかった表現が、輸出・翻訳された国で文化・歴史・宗教の違いからタブーに触れるケースも増えてきました。

「漫画とタブー」というのは、実は漫画研究の重要な視点の一つです。タブーとは、その社会やその時代の思想や道徳や価値観が、最も生々しく表れるもの。漫画に浴びせられる非難の中か

ら、その社会や時代が抱える抑圧や矛盾を読み取ることができるとのことです。

そして何よりも興味深いのは、非難を浴びながらも漫画が決して「やらねばならぬ」ではないこと。タブーの裏をかき、隙間をついた結果、表現の革新が生まれることが多々あるのです。

これは漫画だけでなく、アニメーションやビデオゲームやキャラクターグッズなどの隣接ジャンルについても同じです。

今回の「北九州国際漫画祭2018」では、インドネシアとマレーシアの漫画を紹介します。この両国の共通点は、イスラム教徒の比率が高く（インドネシア8割以上、マレーシア6割以上）、イスラム教の価値観や慣習が広く深く根付いていること

です。この両国には、元々の伝統的な漫画表現もありますが、北米や香港や日本の漫画にも古くから親しんでおり、それらが融合して個性的な表現が生まれました。漫画やその隣接ジャンルの人気は、世界的に見ても高い部類と言えるでしょう。

そこで問題となるのがイスラム教の慣習。漫画と共に「コスプレ」人気も高まっていくのですが、イスラム教徒の女性は人前で肌や髪を露出することを制限されます。ヒジャブ（またはツドン）と呼ばれるベールで頭を覆っているのはそのためです。これじゃあコスプレなんてもつてのほか……と思いきや、カラフルなヒジャブを活用したコスプレ術とか、カラフルなヒジャブを着用したカワイイ漫画キャラクターなど、何ともたくましくも微笑ましい表現が生まれています。

そんなインドネシアとマレーシアの最新の漫画の中で、今回の展示では、スウェタ・カルテイカの『グレイ&ジンガ』（インドネシア/図1）と、ジョンスラヤの『ジェジョン イン ジャパン』（マレーシア/図2）に

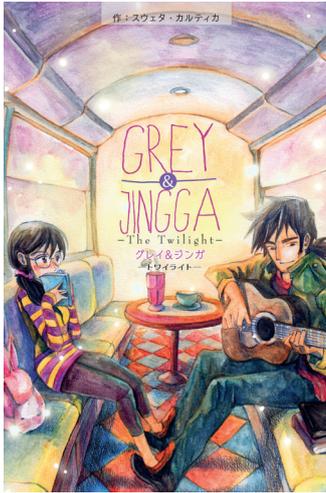


図1 スウェタ・カルテイカ
『グレイ&ジンガ』（インドネシア）
©Sweta Kartika/PT Gramedia
Pustaka Utama-m&c!/Comic
Catapult



図2 ジョンスラヤ
『ジェジョン イン ジャパン』（マレーシア）
©Jonsuraya/Maple Comics Sdn
Bhd/Comic Catapult

特に注目してみました。『グレイ&ジンガ』は大学を舞台とする軽快なラブコメディー、『ジェジョン イン ジャパン』は京都に留学してきた作者の生活を描くエッセイ漫画です。両国の等身大の「いま」が生き生きと描かれていて、いづれも新鮮な驚きがありますよ。

「北九州国際漫画祭2018」ではこの他にも、フランス発の少年漫画『ラディアン』（トニー・ヴァレント）についてや、「日中韓新人MANGA選手権」の熱闘リポートなど、盛りだくさんの内容です。年末年始にぜひお立ち寄りを！

Information 「北九州国際漫画祭2018」

- 【開催期間】12月22日(土)～2019年1月20日(日)
- 【会場】北九州市漫画ミュージアム企画展示室(あるあるCity 5F)
- 【開館時間】午前11時～午後7時(入館は午後6時30分まで)
- 【休館日】12月31日～2019年1月2日、1月8日・15日
- 【入館料】一般200円(常設展セット券500円)
※高校生以下無料
- ※詳しくは北九州市漫画ミュージアムのホームページをご覧ください
<http://www.ktqmm.jp/>
- 【お問合せ】北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077

美術 hiroba

美術館へ行こう！

北九州市立美術館 学芸員

河村朱音 Akane Kawamura



《ヴェロニカ》1945年頃
ポンピドゥー・センター
パリ国立近代美術館蔵
Photo © Centre Pompidou, MNAM-CCI, Dist.
RMN-Grand Palais / image Centre Pompidou,
MNAM-CCI / distributed by AMF

ジヨルジュ・ルオー 聖なる芸術とモデルニテ

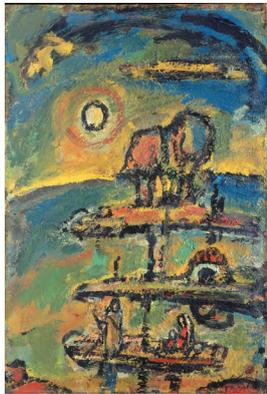
20世紀フランスを代表する画家、ジヨルジュ・ルオー（1871～1958年）。敬虔なキリスト教徒であり、生涯にわたって数多くの宗教主題を描きました。本展は、人間の苦悩から慈愛や赦しまでを表現したルオーの画業の軸である「聖なる芸術」に焦点をあて、四つの章によりその意味と現代性（モデルニテ）を改めて問います。

第1章では、ルオーが40代から取り組んだ、銅版画集『ミセレーレ』を取り上げます。「聖顔」「磔刑」「受難のキリスト」といった、宗教主題が集約された版画集構想のきっかけは、1912年の父の死でした。第1次世界大戦の悲惨にも直面し、15年間かけて主題を深め27年に完成しますが、出版されたのは48年でした。構想から出版まで約36年という長い年月の中で残された、多くの下絵や未採用作



《聖顔》1946年頃
ヴァチカン美術館蔵
Photo © Governatorato S.C.V.
- Direzione dei Musei

品、類作も併せて『ミセレーレ』の重要性を再考します。第2章では、ルオーの数ある主題の中でも特異な存在である「聖顔」に注目します。国立美術学校を退学したルオーは、新しい画風を切り開いていた04年頃に、独自のキリスト像を描き始めました。その後、『ミセレーレ』で図像として確立し、最晩年まで描き続けました。1898年、撮影に成功した「トリノの聖骸布」（キリストの遺体を包んでいたとされる布）や「ヴェロニカの聖顔布伝説」など、同時代の事象にルオーが強い関心を持っていたことにも着目し、独自の図像を生み出したその創作の背景と作品に込めたメッセージを探ります。第3章では、39年に出版された版画集『受難』をもとに、関連の作品までを取り上げます。特に30年代からの制作において、



《キリスト教的夜景》1952年
ポンピドゥー・センター
パリ国立近代美術館蔵
Photo © Centre Pompidou,
MNAM-CCI, Dist. RMN-Grand Palais /
Philippe Migeat / distributed by AMF

絵の具を「削り取る」から「積み重ねる」方法へ移行したルオーの油彩画は、立体的な盛り上がりをもつようになりました。『受難』の制作を通して、作品のマチエール（画肌）があたかも「受肉」し「物質」へと変貌していくその過程を辿ります。第4章では、30年以降の制作の中核をなす「聖書風景」に着目します。実在の風景ではない信仰に基づいた風景画には、市井の人々と交わるキリスト、塔のある建物、樹木、奥へと続く道、水平線といった限られた対象物が登場します。定型を反復するように繰り返し描かれた作品群はある種のユートピアといえ、暖かく親密な空気に満たされたその情景は、ルオーが晩年に到達した境地といえるでしょう。

同時代の社会や人間に対する画家の深い理解と共感から生み出された作品は、文化の違いや国境を越え、今なお多くの人々を惹きつけています。ヴァチカン美術館が初めて日本に出品す

る作品群や、国内外のルオー晩年の傑作により、画家が目指した美しい愛のかたちをご高覧ください。

Information

ジヨルジュ・ルオー
聖なる芸術とモデルニテ

【会場】北九州市立美術館本館
【会期】2018年12月16日(日)～2月17日(日)
【休館日】月曜日(ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)、12月29日～1月1日
【開館時間】午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
【観覧料】一般1200(1000)円 高大生800(600)円
小中生600(400)円
※()内は前売りおよび20名以上の団体料金
障害者手帳提示の方は無料
年長者施設利用証提示の方は2割減免
【お問合せ】093(882)7777

Event

〈記念講演会〉
「「礼拝堂＝美術館」アッシェル教会とルオーのステンドグラス
—1950年代の『聖なる芸術(ラルール・サクレ)』をめぐる」
【日時】1月20日(日)午後2時～
【講師】後藤新治(西南学院大学教授・本展監修者)
【会場】北九州市立美術館本館 アネックス棟3Fレクチャールーム
※聴講無料、定員100名(先着順)
〈学芸員によるギャラリートーク〉
【日時】2018年12月27日(木)、1月10日(木)、2月7日(木)
各回午後2時～(30分程度)
【場所】展覧会場内
※申込不要、ただし本展観覧料が必要です



上映中のモニター

文芸 hiroba

清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 事務局
企画係主任

下澤 聡 Satoshi Shimozawa

担当編集者インタビュー映像 「松本清張の残像」

さて、今回は当館常設展示の再現家屋付近で上映している、ある映像についてご紹介したい。それは「松本清張の残像」と題された、清張を担当した編集者たちへのインタビューをまとめた約15分間の映像である。再現家屋の応接室から書庫に至る薄暗い見学路の途中に、モニター画面がひっそりと設置されているため、素通りしてしまう来館者の方も少なくないようだ。しかし、そこでは読者が直接触れる機会がなかった。作家としての清張の生の姿を垣間見ることができよう。

清張の応接室のソファに掛けた各出版社の編集者ら8人の口から、それぞれの思い出やエピソードの数々が語られていく。そのうちのいくつかを列挙したい。

担当となってもしばらくの間は応接室に引き入れられず、玄関先で立ったまま原稿を待つ編集者とそこに横たわる不気味な飼犬の姿。徹夜で書き上げた原稿を持って作家が2階の書斎から下りてきた時の異様な風貌。応接室で作家と対峙し鋭い質問や厳しい指示を受ける際の緊張

感、そしてやっと解放され帰社する時の安堵感。映像を視聴している私たちまでもが手に汗を握ってしまうほど、臨場感あふれる話である。

もちろん、常に締め切りに追われる作家から、なんとかして原稿を回収するのも編集者としての大事な仕事であり、その苦労が伝わってくる。

進行中の連載を何本も抱える作家が、どの原稿から執筆していくかという順番をめぐっての駆け引き。小出しに何枚かずつ渡される原稿を抱えて、作家宅と挿絵画家のところ、そして出版社や印刷所といった関係先を1日に何度もまわり、なんとか紙面掲載までこぎつける日々。ある女性編集者が当時を「デートもできず会うのは先生ばかり」で「灰色の青春時代」だったと笑いながら振り返っているのが印象に残る。さらには、清張の新作本が目玉となるイベントを出版社が企画したが、迫る期日に焦燥する担当編集者に対して、作家は「執筆が間に合いそうにないから開催をずらせ」といった無茶な要求をした話など、いかにも昭和の大家作家らしいエピソードが語られる。

ここまで述べると、あたかも清張が編集者を酷使するばかりの厳しい作家だったとの印象を与えるかもしれないが、決してそうではない。確かに厳しくはあっただろうが、同時に編集者を尊重する作家であり、常に二人三脚で作品を生み出していくという姿勢が感じられる話も多い。なかでも複数の編集者たちが口をそろえて語るのは、清張が書き上げたばかりの原稿の出来栄について、常に編集者たちに意見を求めていたことである。しかも清張は単に「面白い」といった感想だけでは満足せず、編集者はどかがどのように面白いかまで具体的に説明せねばならなかったそうだ。編集者の反応が芳しくなかったりすると、作家は機嫌を損ねて「休載する」と言い出すことまであったという。やはりここでも編集者としては気が抜けない場面だったようだ。

作家にとって担当編集者とは最初の読者でもあるわけで、いざれにしても清張が常に読者を意識し、多くの人に感銘を与えられる作品を書き続けようとしていたことの表れだと言えるだろう。

このインタビュー映像の後半では、編集者たちの目に映った清張の作家像、そしてその仕事

にかける情熱についてもさらに深く語られていくが、ここでは紹介しきれない。続きはぜひ皆さんご自身の目と耳でゆっくりと味わっていただきたい。

昨年は当館開館20周年であったが、今年は松本清張の生誕から数えて110年にあたる。平成も残りあとわずかとなり、さまざまな意味で節目の年となるだろう。当館は元日から通常通り開館している。初詣や年始のお出掛けの折、当館にも立ち寄ってみてはいかがだろうか。

Information 『砂の器』展

【開催期間】12月18日(火)～2019年3月31日(日)

【開館時間】午前9時30分～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

【休館日】年末(12月29日～31日)

【会場】松本清張記念館企画展示室

【入場料】常設展示観覧料を含む
一般500(400)円 中高生300(240)円
小学生200(160)円

()内は30名以上の団体料金

【お問合せ】

北九州市立松本清張記念館

北九州市小倉北区城内2の3

093(582)2761

ホームページアドレス

<http://www.kid.ne.jp/seicho>

演劇 hiroba

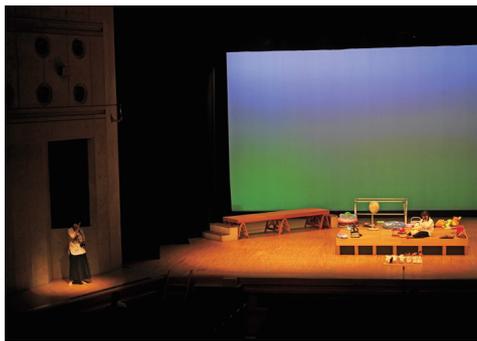
演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

審査員の覚悟

- さて、2年ぶりに、楽しく、興味深い、しかし同時にひどく緊張し、悩み苦しむ経験をした。高校演劇の大会審査員である。
- 平成30年度の『高文連演劇部門北九州地区大会』は、2018年10月19日〜21日、若松市民会館で行われた。参加校は12校。ラインアップは以下の通りである。
- ▽折尾高校『夢のつばみ』
(作：小川内寿々)
- ▽八幡高校『Note』
(原案：石山愛奈／作：八幡高校演劇部)
- ▽小倉高校『Hate Box』
(作：岡山純音)
- ▽北九州高校『三重奏』
(作：瀬戸口みお)
- ▽明治学園高校『ガラスの割れる時』(作：用松桃歌)
- ▽中間高校『ペンとケンと』
(作：小原雅之)
- ▽八幡南高校『生輝』
(作：藤本亜香莉)
- ▽小倉商業高校『DREAMER〜夢を追う光達〜』
(作：谷輪穂佳)
- ▽戸畑高校『混沌と、』
(作：戸畑高校演劇部)
- ▽東筑高校『My Summer』
(作：池田陽南子)
- ▽ひびき高校『演劇失格』
(作：吉田春菜)
- ▽門司学園高校『あいカギ』
(作：志水さくら)



東筑高校『My Summer』



八幡高校『Note』



八幡南高校『生輝』

県大会へと駒を進めることができる「優秀賞」には、八幡高校、八幡南高校、東筑高校が選ばれ、2019年5月の「春フェス」での上演権が与えられる「奨励賞」および「創作脚本賞」は門司学園高校が、「舞台美術賞」は小倉高校がそれぞれ受賞した。

北九州は生徒創作の割合が他の地区に比べてもかなり高い方だが、特に今年は、12校中11校が生徒創作、つまり高校生が自分の言葉で世界を書き表した作品だった。将来の夢の実現に対する不安や、友情、学校の中の自分の立ち位置、演劇を続けていきたいという強い思い。どの作品からも、大会出場までの努力や工夫、迷いや決断が垣間見えて、非常に興味深かった。特に、多くの作品において、

登場人物のトラウマや、乗り越えるべく設定された壁が「いじめ」にまつわるものだったことが印象に残った。ただ、それは真正面から戦いを挑む要素としては現れない。物語の中に、当然のように登場するだけだ。同時に「仲直りする」「誤解が解ける」「理解し合う」「許す」という展開に収束していく作品が多かったことから、高校生たちが置かれている日常の息苦しさのようなものが、彼らの書く物語の中に（意識的にせよ、そうでないにせよ）織り込まれているような気がしたのは、うがちすぎだろうか。

高校演劇は、演劇の面白さは、物語の巧妙さとか、構築された世界観の完成度などではないのだということを、私に思い出させてくれる。コンテスト形

式であるからには、審査員は、次の大会に出場する高校を選出しなければならぬが、それを「勝つ」という言葉で表現しないように気を付けようと常に思っている。得点差がはっきりと分かるスポーツとは違って、高校演劇では「地区大会に勝って県大会に行く」という表現は似つかわしくないと思うのだ。そう考えて初めて、単に作品の良し悪しを褒めたりけなしたり、テクニクについてアドバイスしたりするのはなく、彼らが今後演劇を続けていくにあたっての「お土産」のようなものを持たせてあげられるのではないかも思う。

高校生諸君。審査員も成長するべく努力している。今後も我々をうんうんうならせるような興味深い作品を見せてほしい。

木屋瀬いろは歌留多大会、ひなまつり

学芸員 岩崎秋沙 Aisa Iwasaki

Cul 特集Cul 69

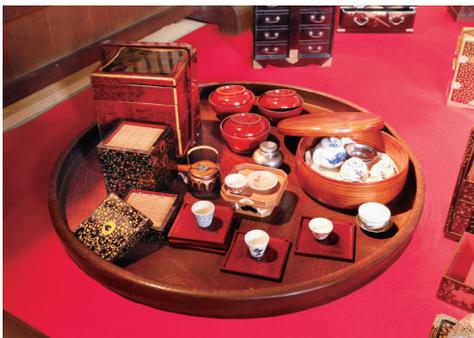
北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館



長崎街道木屋瀬宿記念館みちの郷土史料館



旧高崎家住宅(伊馬春部生家)



江戸あかりの民藝館 ひな道具



もやいの家



立場茶屋銀杏屋

旧長崎街道沿いに建つ北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館は、江戸時代の木屋瀬や長崎街道の旅や当時の暮らしにまつわる資料、郷土の歴史に関する図書や映像を自由に閲覧できるライブラリーなどが展示・設置されている「みちの郷土史料館」。そしてかつて木屋瀬にあった芝居小屋「大正座」をモチーフに造られた多目的ホールで、人々の交流の場として使われている「こやのせ座」の二つの施設からなり、地域に根ざした文化の拠点となっています。

毎年1月には「木屋瀬いろは歌留多大会」を行っており、今年で18回目の開催になります。この大会で使用される「木屋瀬いろは歌留多」は、北九州市誕生の功労者の一人で、木屋瀬の伝統保存の継承・育成にも力を入れていた故岩尾四十三郎さんが、入院された折に毎日のように孫に宛て描いた絵葉書をもとに作成されました。木屋瀬ならではの風物や伝統・伝承などを多彩に織り込み、温かみのある手描きの絵と共に、長い歴史で培われた木屋瀬の「いろは」を学ぶことのできる作品です。史料館内でも歌留多の展示をしていますので、歌留多に込められた木屋瀬への深い思いをより詳しく知ることができます。また、歌留多大会には誰でも参加することができ、ぜひ「木屋瀬いろは歌留多」で遊んでみてください。

2月中旬～3月下旬には、史料館を含めた周辺5施設が連携した「長崎街道ひなまつり 木屋瀬く立場茶屋銀杏屋」を開催しており、今年で7回目になります。

今回、「みちの郷土史料館」では第71回企画展として、おひなさまの展示をはじめ手作りのさげもんやひな飾りなどの展示を行います。

また、「旧高崎家住宅(伊馬春部生家)」では、放送作家・伊馬春部の生家にひな人形を飾り、古民家と併せて来館された方々に楽しんでいただけます。「江戸あかりの民藝館」では、「江家由来の精巧なひな道具などを展示しています。「もやいの家」では、地域の方からお預かりした壇飾り約300組を展示しており、2階建ての建物全体に並べられたひな人形は圧巻です。「立場茶屋銀杏屋」では、「大名びな」と呼ばれる手作りの巨大びなや、さげもんで書院造りの「上段の間」が飾り付け

Event

【お問合せ】093(619)1149

〈木屋瀬いろは歌留多大会〉

【日程】1月6日(日)午前10時から

【場所】長崎街道木屋瀬宿記念館こやのせ座

※詳細は11ページの同記念館をご覧ください

〈長崎街道ひなまつり

木屋瀬宿～立場茶屋銀杏屋〉

【日程】2月中旬～3月下旬(施設によって開催期間が異なります)

【場所】長崎街道木屋瀬宿記念館みちの郷土史料館、旧高崎家住宅(伊馬春部生家)、江戸あかりの民藝館、もやいの家、立場茶屋銀杏屋

られています。

5施設がそれぞれ違った雰囲気を出しますので、おひなさまを通じて、旅人が行き交った長崎街道を、当時の街並みを残す木屋瀬の町を、歴史や文化に触れながら散策してみたいかがでしょうか。

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

特集
北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館
演劇 | 演劇の街は、いま
文芸 | 清張アラカルト
美術 | 美術館へ行こう！
漫画 | 漫画と北九州
埋蔵文化財 | 遺跡からのメッセージ
音楽 | いろはにぴあの

2019
January

1

Vol.69

